

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和6年10月21日(2024.10.21)

【国際公開番号】WO2023/157396

【出願番号】特願2024-500954(P2024-500954)

【国際特許分類】

G 0 3 B 11/00(2021.01)

H 0 4 N 23/55(2023.01)

G 0 1 J 3/36(2006.01)

G 0 2 B 7/02(2021.01)

H 0 4 N 23/54(2023.01)

10

【F I】

G 0 3 B 11/00

H 0 4 N 23/55

G 0 1 J 3/36

G 0 2 B 7/02

E

H 0 4 N 23/54

【手続補正書】

20

【提出日】令和6年6月7日(2024.6.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光路に偏光ユニットが配置されたレンズ装置であって、
前記偏光ユニットは、前記光路に位置している複数の開口を有し、
前記複数の開口のうち少なくとも一つの開口には、第1偏光子とフィルタとが設けられ、

30

前記レンズ装置は、

前記偏光ユニットを光軸周りに回転させる回転部材と、

第2偏光子を有する第1イメージセンサを備える第1撮像装置ボディに設けられた第2マウントに取り付けられる第1マウントと、

を備え、

前記第1マウントには、前記第2マウントに形成された第2ネジ部と螺合する第1ネジ部が形成されている

レンズ装置。

40

【請求項2】

前記回転部材は、前記レンズ装置の光軸周りに回転し、

前記回転部材は、前記偏光ユニットと連結されている

請求項1に記載のレンズ装置。

【請求項3】

前記回転部材は、

第1部材と、

前記光路に前記偏光ユニットが配置された状態で、前記第1部材に前記偏光ユニットを連結する第2部材と、

を有する

50

請求項 2 に記載のレンズ装置。

【請求項 4】

前記第 1 部材は、一部の領域に溝穴部を有するリング部材であり、

前記第 2 部材は、前記溝穴部に組み付けられる

請求項 3 に記載のレンズ装置。

【請求項 5】

前記回転部材を回転可能に支持する鏡胴と、

前記鏡胴に対して前記回転部材を固定する固定部材と、

をさらに備える

請求項 2 に記載のレンズ装置。

10

【請求項 6】

前記第 1 マウント及び前記第 2 マウントは、それぞれ C マウントである

請求項 1 に記載のレンズ装置。

【請求項 7】

請求項 1 から請求項 6 の何れか一項に記載のレンズ装置と、第 2 撮像装置ボディとを備える撮像装置に対して適用され、プロセッサを備える情報処理装置であって、

前記プロセッサは、前記レンズ装置が前記第 2 撮像装置ボディに取り付けられている場合に、前記第 2 撮像装置ボディに備えられた第 2 イメージセンサからの出力データである第 1 情報に基づいて、前記第 1 偏光子の透過軸の角度に関する第 2 情報を出力する

情報処理装置。

20

【請求項 8】

前記プロセッサは、前記第 2 情報に基づいて前記角度が第 1 既定角度範囲に収まっているか否かを示す信号を出力する

請求項 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記情報処理装置は、前記撮像装置である

請求項 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記第 1 情報は、前記第 2 イメージセンサに入射する光のスペクトル及び前記偏光ユニットの光学特性に基づく情報である

請求項 7 に記載の情報処理装置。

30

【請求項 11】

前記第 2 情報は、前記第 2 イメージセンサに含まれる複数の画素のうちの一つの特定画素から出力された出力データに基づく情報である

請求項 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 12】

前記第 2 情報は、輝度値、偏光度、及び偏光角の少なくとも一つを含む

請求項 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 13】

前記プロセッサは、前記第 2 情報をディスプレイに出力する

請求項 7 に記載の情報処理装置。

40

【請求項 14】

前記第 2 情報を記憶するメモリをさらに備える

請求項 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 15】

前記プロセッサは、前記出力データに対して、混信除去処理を実行することにより、マルチスペクトル画像を取得する

請求項 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 16】

請求項 1 から請求項 6 の何れか一項に記載のレンズ装置と、第 2 撮像装置ボディとを備え

50

る撮像装置に対して適用される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記処理は、前記レンズ装置が前記第2撮像装置ボディに取り付けられている場合に、前記第2撮像装置ボディに備えられた第2イメージセンサからの出力データである第1情報に基づいて、前記第1偏光子の透過軸の角度に関する第2情報を出力することを含むプログラム。

【請求項17】

請求項1から請求項6の何れか一項に記載のレンズ装置と、第2撮像装置ボディとを備える撮像装置を組み立てるための撮像装置の製造方法であって、

前記レンズ装置を前記第2撮像装置ボディに取り付けること、及び、
前記レンズ装置が前記第2撮像装置ボディに取り付けられた状態で、前記回転部材によって前記第1偏光子の透過軸の角度を変更すること
を備える撮像装置の製造方法。

10

【請求項18】

前記角度を変更することを、前記レンズ装置を用いたピント合わせが行われた場合に実行する

請求項17に記載の撮像装置の製造方法。

【請求項19】

前記第2撮像装置ボディに備えられた第2イメージセンサからの出力データである第1情報に基づいて、前記角度に関する第2情報を取得することをさらに備え、

前記角度を変更することを、前記第2情報に基づいて実行する
請求項17に記載の撮像装置の製造方法。

20

【請求項20】

前記第2情報に基づいて前記角度が第1既定角度範囲に収まっているか否かを示す信号を出力することをさらに備える

請求項19に記載の撮像装置の製造方法。

【請求項21】

前記角度が前記第1既定角度範囲に収まっている場合に、前記レンズ装置の鏡胴に対して前記偏光ユニットを固定することをさらに備える

請求項20に記載の撮像装置の製造方法。

30

40

50